



olive・heart通信

香川大学男女共同参画推進室ニュースレター



報告① センター入試・一般入試時の託児を実施しました。

1/14(土)・1/15(日)のセンター入試時に、入試業務に携わる教職員を対象に、休日出勤時の託児を、医学部キャンパス(あかつき荘)と幸町キャンパス(薬王寺)の2ヶ所で実施しました。

託児ボランティアあゆみの協力のもと、2日間2ヶ所あわせて、延べ10名のお子さまをお預かりしました。

また、急遽要望があり、3/12(日)の一般入試(後期試験)時に、医学部キャンパス(管理棟5階 休憩室)と幸町キャンパス(男女共同参画推進室 香大っこルーム)の2ヶ所で託児を実施しました。

幸町キャンパスでは3名、医学部キャンパスでも3名、計6名のお子さまをお預かりしました。

【平成28年度 休日出勤時の学内託児実績】

	行 事	幸 町	医学部
11/19(土)	推薦入試	7	-
1/14(土)	センター入試	1	2
1/15(日)	センター入試	1	6
3/12(日)	一般入試(後期試験)	3	3
合 計		12	11



目 次 :

センター入試・一般入試時の託児実施の報告..... P1
 研究力伸張セミナー開催の報告・支援ガイド作成の報告..... P2
 介護セミナー開催の報告..... P3
 女性登用セミナー開催の報告. P4



報告② 2017.2.1 「研究力伸張セミナー」を開催しました。

- 日 程：2月1日（水）
- 会場・時間：工学部 6301講義室（16：00～17：30）
医学部 臨床講義棟1階 講義室（18：30～20：00）
- 参加人数：工学部29名、医学部11名

2月1日（水）香川大学工学部キャンパス、また医学部キャンパスの2ヶ所において、研究力伸張セミナーを開催しました。

まず工学部では、中西俊介 工学部長から開会の挨拶があり、その後、エルゼビア・ジャパン株式会社の高石雅人氏に、抄録・引用文献データベースのScopus、文献管理ツールのMendeleyによる、研究者のデータベースや参考文献管理、活用方法、またコラボレーション機能について、パソコンを用いて実演しながら大変分かりやすく講演していただきました。

工学部 石井明 教授からの閉会の挨拶をもって、工学部でのセミナーを終え、医学部に移動しました。

医学部では、医学部 清水裕子 教授より開会の挨拶があり、エルゼビア・ジャパン株式会社の高石雅人氏に、工学部と同様にご講演いただきました。閉会は、医学部薬理学 西山成 教授よりご挨拶をいただき、無事閉会しました。

アンケートでは、「まずはMendeleyを使ってみようと思いました。有用だと思いました。」「今まで、グーグルスカラー等で論文検索等をしていたため、膨大な量が出てきていたが、Scopusを用いることで簡単にフィルタ等がかかることが出来て、使いやすいと感じた。」「Mendeleyに色々な機能があることを初めて知った。」「Scopusは、査読誌のみを取り上げ、良い論文のみを拾うようにしている。被引用文献など、便利な機能があり、驚きました。」等の感想をいただきました。



▲講演の様子



▲高石雅人氏

報告③ 香川大学 出産・育児・介護支援ガイドを作成しました。

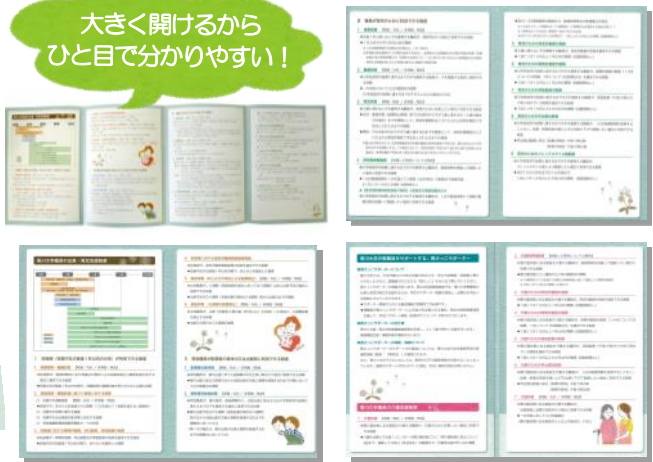
香川大学の出産・育児・介護支援制度について、分かりやすくまとめたガイドリーフレットを作成しました。

「今は利用しない制度だけど、今後もしかしたら利用するかもしれない」「配偶者が利用する予定だから、簡単にでも知っておきたい」など…そういった方にも、とても分かりやすく作っています。



持ち運びに便利なコンパクトサイズ!

大きく開けるからひと目で分かりやすい!



- 日 時：3月1日（水）15：00～17：00
- 場 所：幸町北キャンパス 研究交流棟5階 研究者交流スペース
- テレビ配信会場：医学部（講義棟1階 大講義室A）、農学部（A405講義室）、工学部（3号館3階 3304講義室）
- 参加人数：幸町キャンパス38名
 その他会場11名（医学部5名、農学部5名、工学部1名）

3月1日（水）香川大学幸町キャンパスにおいて、「介護セミナー 介護と育児の支援制度を知ろう～介護保険の利用が必要になったら～」を開催しました。

まず、眞鍋光輝 理事・副学長から開会の挨拶があり、その後、香川県健康福祉部長寿社会対策課 副課長 谷本竹司氏、高松市健康福祉部介護保険課 課長補佐 太田敦子氏、香川大学人事グループ 木村タ子チーフより、香川県の介護保険制度の説明、いざという時の利用方法、また、香川大学内の介護・育児に関する支援制度についてご講演いただきました。

アンケートでは、ほとんどの参加者が「大変満足」「満足」と回答しており、「短い時間ながらも、難しいと思っていた介護保険制度を理解することができた。」「今まで介護に縁がなかった為、知らないことばかりだった。参考になった。」「自分自身、これから介護を行う身、色々なサービスもあることが分かった。」「介護の具体的な取組をもう少し詳しく聞いてみたい。」等の感想がありました。

現時点で自分にとって介護の話はまだ早い・関係ないと思っても、どんな形であれ、いつかは経験しなければならないことだと思います。そんな「いつか」の時の為の基礎知識を得る場として、とても参考になるセミナーになったのではないかと思います。

知っているようで、知らないことの多い「介護制度」。老々介護やシングル介護等、一人に対する介護負担がどんどん重くなっていく時代に、制度をよく理解し、上手く利用していくこと、また一人で抱え込まず、必ず周りに相談することが大切だと感じました。



▲講演の様子 幸町キャンパス会場



▲講演の様子 医学部会場（左）、農学部会場（中央2枚）、工学部会場（右）





報告⑤ 2017.3.22 「女性登用セミナー」を開催しました。

- 日 時：3月22日（水）14：00～15：30
- 場 所：幸町北キャンパス 研究交流棟6階
生涯学習教育研究センター第1講義室
- 参加人数：16名

3月22日（水）香川大学幸町キャンパスにおいて、「女性登用セミナー 女性研究者の上位職・管理職登用の現状と課題」を開催しました。

まず、眞鍋光輝 理事・副学長より香川大学における女性活躍推進に関する現状についてお話があり、開会となりました。

始めに、男女共同参画推進室 村上弥生コーディネーターより香川大学の女性研究者研究活動支援事業についての成果報告がありました。女性研究者の科研費採択率、管理職登用数及び登用率、在職者比率のいずれも目標値を達成しており、これからも現状をより良くしていく為、取り組みを推進していきたいとお話がありました。

次に、科学技術振興機構 山村康子 プログラム主管より、女性研究者の上位職・管理職登用の現状と課題についてお話がありました。

小・中・高・大となるにつれ、女性教員の数は減少しており、大学教員における分野別・職階別の割合を見ても、自然科学系（特に工学系）及び上位職階（教授・准教授）の教員における女性割合が低いという問題は、国公立大学で共通しているとのことでした。

また、女性研究者研究活動支援事業・女性研究者養成システム改革加速事業等の成果についてお話くださり、離職率の抑制、女性研究者割合の増加、研究業績の向上、理学・工学・農学系の女性教授・准教授の在籍割合の増加等の実績をご紹介くださいました。

最後に、当初進めていた事業（研究環境整備、男女共同参画意識の醸成等）は、現在、女性研究者の研究力向上、研究リーダーの育成、上位職執行部への

登用へと目標が移りつつあり、同時にワーク・ライフ・バランスの推進、多様な研究・教育人材の育成、研究・教育・事業の活性化につなげていければとのお考えをお話いただきました。

閉会の挨拶は、医学部 清水裕子 教授より行い、閉会となりました。

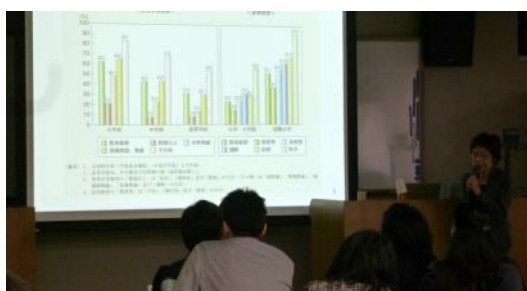
セミナー後は、意見交換の場を設け、コーヒーやお菓子も用意し、セミナー参加者も交えた中で有意義な意見交換が行われました。



▲山村康子 プログラム主管



▲講演の様子



olive heart

香川大学 男女共同参画推進室

香川県高松市幸町1-1 北5号館1階

TEL：087（832）1055

内線：1055

FAX：087（832）1057

<http://www.kagawa-u.ac.jp/sankaku/>

sankaku-room@ao.kagawa-u.ac.jp